TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

起きなさい！後戻りしないでください！

ペトロの手紙二 2:17-22

2022 年 3 月 26 日&27 日
余沢　武牧師

I. はじめに

こんにちは。三郷キャンパスのことをお祈りください。ピーター牧師は秀子さんと共に 11 年「キャンパス担当牧師」として誠実に仕えてくださいました。5 月 31 日でお二人は引退されます。お二人を通してなされたことのすべてに主を讃えます。

聡牧師が三郷を牧会しますが、これまで通り英理子さんと共に「TBC ミニストリー担当牧師」の責任もお願いしています。どうぞピーター牧師と秀子さん、聡牧師と英理子さんのために、そして「TBC 三郷」に引き続き神の祝福があるようにお祈りください。

これまで学んできましたが、使徒ペトロが死ぬ前に第二の手紙を書いたのは、私たちが信仰生活を送るために必要なものを全て持っていることを思い出させるためでした。そして、真っ暗なこの世を生きる私たちに、神は御言葉である聖書を光として役立たせるようお与えになりました。しかし「偽教師たち」が真っ暗な世の人間的な考えと取り換え、神の民を「堕落の道」へ、「不道徳な道」へと導こうとします。その人たちにはいずれ、神の裁きが訪れるでしょう。

II.　後戻りしないでください！

(1) 水のない泉

聖句を見ましょう。**2 ペテロ 2:17「この者たちは、水のない泉、嵐に吹き払われる霧であって、彼らには深い闇が待ち受けています。」**

ペテロは偽教師の最大の問題について説明しています。それは「水のない泉」や「嵐に吹く払われる霧」です。中東の厳しい猛暑において、泉は水のない旅人の命綱でした。しかし、想像してみてください。命拾いしたと思って旅人が泉にかけよっても、水がなかったら。

想像してみてください。農夫が干上がって枯れかけた作物への雨を祈っています。すると霧が現れ、このまま雨になり作物を生かしてくれそうに見えましたが、そこに強い風が吹き、霧が吹き飛ばされ、結局すべての作物が枯れてしまったら。

「偽教師の教え」はこのようのものだとペテロは言います。教師たちが「新しい生き方」「イエスの生き方」をもたらすだろうと人は考えます。しかし、何も起きません。生き方も何も変わりません。

私は幼い頃台湾にいました。毎週土曜の夜は、兄弟で祖母の家に泊りに行くのですが、ほんの数軒先に教会がありました。日曜は祖母の家から教会へ通ったのです。

祖母のダイニングルームの壁に、きれいな女の人の白黒写真がありましたが会ったことのない人でした。父の姉、伯母の写真でした。時々、祖母は伯母の話をしてくれました。だれもが望むような理想の娘でした。

それが、二十歳の時、結核にかかりました。「ストレプトマイシン」という抗結核薬はすでに発見されていた時代でしたが、まだ不足していました。ですが、祖母はだれかから結核治療の新しい「ペニシリン」があると聞かされました。

その薬はとても高額でした。しかし、祖母は娘の命を救いたかったので払いました。しかし何も起こりませんでした。祖母が結核の治療になると思ったものは、結局治療ではなかったのです。伯母は二十歳で亡くなりました。残念な話です。

問題はこうです。命をくれると人が言うもの全てが命をくれるとは限りません。偽教師の教えは「新しい生き方」を約束しました。しかし、何も変化はなく、新しい命もありませんでした。

(2) 偽の約束

18-19節: 「[18] 彼らは空しい大言を吐いています。そして、迷いのうちに生活している人々から現に逃れようとしている人たちを、肉欲や放縦によって誘惑し、[19] その人たちに自由を約束しながら、自らは滅びの奴隷になっています。人は、自分を打ち負かした者に隷属するものです。」

これが手口です。「誘惑し」とは、釣りや狩りのように餌を使っておびき寄せるようなことをするのです。このエサとは、「肉欲や放縦」です。新改訳2017では「肉欲と好色」、口語訳では「肉欲と色情」とされます。つまり、不道徳な欲求です。偽教師が狙うのは、間違った生き方から何とか逃げようとしている人々です。それはクリスチャンになりたての人や罪や不道徳な欲求から逃れられないでいるクリスチャンです。

ロトの妻のようなものです。神が不道徳な街ソドムを破壊しようとしたとき、御使いがロトを家族ごと街から逃しました。家族は「逃げろ」そして「振り返るな」と命じられます。しかし聖書によると、**「ロトの妻は振り向いたので、塩の柱になった。」(創世記12:26)**とあります。罪から逃れることができず心が捕らわれたままでした。だから、振り返ってしまったのです。

聖書は言います。「不純な色情から逃げよ！」しかし、できないクリスチャンがいます。振り返り、罪深い不純な欲求を楽しみます。YouTubeやゲーム、音楽、場所、人との関係や想像の中で。

問題なのは、偽教師やクリスチャンの中にはこれを「自由」であると捉えていることです。幅員が約束する「罪からの自由」を「罪への自由」として解釈しているのです。

福音によれば，私たちは完全に罪深く不道徳です。御言葉に従う力もありません。罪の奴隷であり、裁きを受ける運命にあります。しかし、御子であるイエスが私たちの代わりに死にました。それを受け入れイエスに従うことを決意すると、罪から解放されます。
イエスの十字架により罪が赦される。聖霊が宿り、罪をやめ変わろうとする意志と力を与える。それが救いの証です。
これらのことを通して、私たちは「罪からの自由」を得るのです。イエスが再臨したとき、私たちの中に罪はありません。

偽教師はこのようにも教えるでしょう。私たちは完全に罪深く不道徳です。御言葉に従う力もありません。罪の奴隷であり、裁きを受ける運命にあります。

しかし、御子であるイエスが私たちの代わりに死にました。それを受け入れなければなりません。同じなのはここまでです。そして彼らはこう教えるのです。イエスに従う必要はない。救いの証も必要ではない。

なぜでしょう？
その理由はイエスの再臨はない、裁きもないから、というのです。また昨今よく聞く理由は、イエスが戻って来るときにイエスを受け入れた、と言う人に裁きはないから、とも言われます。イエスに従っているかどうか、救いの証があるかどうかに関係なく。

そうです、偽教師は「罪と不道徳からの自由」を与える福音を教えずに、「罪と不道徳への自由」を与える福音を教えるのです。

(3) 最後に

20-22節「[20] 私たちの主、救い主イエス・キリストを深く知って世の汚れから逃れても、再びそれに巻き込まれて打ち負かされるなら、その人たちの後の状態は前よりも悪くなります。[21] 義の道を知りながら、伝えられた聖なる戒めに背くよりは、その道を知らなかったほうが、彼らにはまだよかったのです。[22] 彼らの身に起こっていることは、「犬は自分の吐いたものに戻る」とか、「豚は身を洗って、また泥の中を転がる」とかいう、ことわざのとおりです」

ペテロによると、不道徳に生きる人の「状態は前よりも悪くなります」
前は、自分を「ノンクリスチャンです」といっていた人。その人たちは不道徳です。しかし、他のクリスチャンとは離れていました。しかしその後、「クリスチャン」を名乗るようになりますが、不道徳のままです。そして他のクリスチャンが自分たちと同じことをするように励ますのです。それならイエスを知らないほうがよかった。

ペテロはその人たちを「犬は自分の吐いたものに戻る」とか「豚は身を洗って、また泥の中を転がる」と例えました。犬も豚も不浄の生き物とされていて、信仰のない者を現すときに使われていました。

ペテロがいうには、その人たちは罪や不道徳から洗われ離れたように見えると。しかし、次にはまた不道徳な YouTube やゲーム、音楽、場所、人間関係や考えを楽しみます。

エスキモーがどうやって狼を殺すかを思い出します。まず、ナイフの刃を動物の血で覆い、凍らせます。それからさらに血を重ねて、何層にもして完全に凍った血でコーティングします。次に、刃を上にして地面にナイフを固定します。

狼が血のにおいを嗅ぎつけると、凍った血を舐めだします。血の味がすると、どんどん舐めるのが速くなります。そのうち刃が舌を切ります。しかし、凍るほどの気温なので、痛みを感じません。そして自分の血を死ぬまでなめ続けるのです。

同じように「自称クリスチャン」は自分の罪に戻ります。罪を楽しみます。罪を愛します。自分たちの中の純粋な部分をすべて壊しているとも知らずに。自分自身の人生や、家族、自由、それにイエスの祝福までも壊しているのです。

(4) まとめ

このため、ペトロはこの手紙を書く必要がありました。クリスチャンたちは捕らわれていたのです。

それではどうしたらいいのでしょう？

十字架に戻る。自分の罪を自覚する。

御子が来て、十字架で自分の罰を受けてくれたことを信じる。ここで終わりではありません。

悔い改め。罪から離れ、イエスに従う決意をする。決意が本物なら、聖霊があなたに入り変化を助けます。

赦され、永遠のいのちを受けます。これがクリスチャンの信仰です。

しかし、ペテロは言います。まだあります、ここで止まらないようにと。

信仰は善で補います。断固として罪をやめイエスに従います。

日々のクワイエットタイムで補います。聖書の「知識」です。聖霊に「自制心」を求めます。これを続けます。これが「忍耐」です。

ペテロは言います。私たちには敬虔、兄弟姉妹の思いやり、愛に必要なものは全て持っていると。

これは過程です。私たちは失敗します。戻ってしまいます。また失敗します。また戻ってしまいます。しかし、この過程を経て、聖霊が私たちを変えるのです。栄光から栄光へと変えられて行きます。もし、人生がこのように説明できるなら、ご安心ください、あなたは自由です。罪と裁きから自由です。

罪に囚われている方もいるでしょう。YouTube、人間関係、そのほかの何かに。イエスに赦しと助けを求めましょう。クワイエットタイムで補いましょう。イエスの敬虔さをあなたの人生に受け入れてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https:/t-b-c.us/sg1322jp

★クラス 101
（教会員になるためのクラス）
3月27日（日）13:00～17:00

★クラス 402
（キリストの伝え方）
4月9日（土）13:30～17:30
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ申込み
http://t-b-c.us/sgsu



奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4名募集）
月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org